

# かわまちづくりの先行取り組み事例を国と市で合同視察

～加古川の利用空間づくりの加速化に向けて、河川管理者×加古川市の連携を強化～

- 加古川市かわまちづくり（推進主体:加古川市）は、令和10年4月全体オープンに向けて、これからハード・ソフト両面で本格的に進捗を図っていく段階に入っているところです。
- このたび、河川敷の利活用のビジョンや、民間事業者との連携にあたっての課題などの確認を目的とし、加古川市の担当者とともに、淀川河川敷十三エリアかわまちづくりの合同視察を実施しました。
- 類似事例に取り組んでいる大阪市の担当者との意見交換を通じて、加古川市かわまちづくりが目指そうとする河川の利用空間づくりに向けて、あらためての共通認識につながり、更にスピード感を持ちながら事業を進めていくことを共有しました。

## 合同視察の概要

- 日時：令和8年2月9日（月）13:30～
- 内容：意見交換、現地視察
- 参加：姫路河川国道事務所  
加古川市（加古川市かわまちづくりの推進主体）  
大阪市淀川区（淀川河川敷十三エリアかわまちづくりの推進主体）



## 参加者からの主な意見

- ・河川での賑わいを、まちの魅力向上とどのようにつなげていくのか、イメージが深まった。
- ・地域の意見を丁寧に聞くことでみんなに喜ばれる利用になり、事業の持続性にもつながると考える。
- ・ハード施設のデザイン段階から供用後の利用を見据えて、施設や空間の維持管理の役割分担を関係者全体で共有しておくことが大事と思った。